

誠に申し訳ございませんが、以下の箇所の訂正をお願い申し上げます。

ページ	箇所	訂正内容	
		訂正前	訂正後
16	b. 全反射	②入射角が臨界角 (入射角が90° のときの屈折角)	②入射角が臨界角 (屈折角 が90° のときの 入射角)
20	(1) β ⁻ 線の相互作用 BOX内 後方散乱	β ⁻ 線が軌道電子と衝突した際、質量 が同じ電子同士であるため、β ⁻ 線自 体も散乱され入射方向に戻る現象。	β ⁻ 線が原子核のクーロン力により 弾性散乱を繰り返した結果、はじめ の入射方向と逆方向に進行する現 象。
22	3) 放射性核種 BOX内 放出放射線	⑤ ⁴⁰ K β ⁻ 線 (高) ⑥ ⁶⁰ Co β ⁻ 線 (低) ⑦ ⁹⁰ Sr β ⁻ 線 ⑩ ¹³¹ I β ⁻ 線 (高) ⑪ ¹³⁷ Cs β ⁻ 線 (高)	⑤ ⁴⁰ K β ⁻ 線 (高) を削除 ⑥ ⁶⁰ Co β ⁻ 線 (低) を削除 ⑦ ⁹⁰ Sr β ⁻ 線 (高) ⑩ ¹³¹ I β ⁻ 線 (高) を削除 ⑪ ¹³⁷ Cs β ⁻ 線 (高) を削除
23	(1) 放射平衡のBOX 過渡平衡の欄 成立後の原子数の特徴	$\frac{N_B}{N_A} = \frac{T_B}{T_A - T_B}$	$\frac{N_B}{N_A} = \frac{\lambda_A}{\lambda_B - \lambda_A}$
	(1) 放射平衡のBOX 永続平衡の欄 成立後の原子数の特徴	$\frac{N_B}{N_A} = \frac{T_B}{T_A}$	$\frac{N_B}{N_A} = \frac{\lambda_A}{\lambda_B}$
27	4) エンタルピー 1行目	エンタルピーとは、 系のもつ総エネルギーを示す。	エンタルピー-Hとは、 一つ一つの分子が持つエネルギー (内部エネルギー-U)と、それらが集 合した時に持つ、形態によるエネル ギー-p・Vの合計である。ただし、p を圧力、Vを体積とする。
31	1) ギブズエネルギー と化学ポテンシャル 1行目	多成分系の～	一般的に、多成分系の～
31	下から3行目 下から1行目	以下に示す van' t Hoff 式で表され る。 $\Delta G = \Delta G^\circ + RT \ln K \rightarrow$ 平衡状態では、 $\Delta G = 0$ $\Delta G^\circ = -RT \ln K$	次のページに示す van' t Hoff 式で 表される。 また平衡状態では、次式が成り立つ。 $\Delta G^\circ = -RT \ln K$

ページ	箇所	訂正内容	
		訂正前	訂正後
33	上部の図 気体から固体へ状態 変化	昇華	凝華
36	下から 1 行目	一般式として、 蒸発曲線、昇華曲線、融解曲線はい ずれも	融解曲線を削除
44	中央 右側の表	極限モル伝導率の大小関係	溶液の濃度 0.01 mol/L におけるモ ル伝導率の大小関係
		極限モル伝導率	(極限を削除) モル伝導率
47	用語解説	K : 平衡定数	Q : 反応商 (= $\frac{\text{生成物の活量}}{\text{反応物の活量}}$)
	下から 3 行目 下から 2 行目	$\Delta G = \Delta G^{\circ} + RT \ln K$ $E = E^{\circ} - \frac{R \cdot T}{n \cdot F} \cdot \ln K$	$\Delta G = \Delta G^{\circ} + RT \ln Q$ $E = E^{\circ} - \frac{R \cdot T}{n \cdot F} \cdot \ln Q$
92	屈折率のグラフ		
	グラフ右側の説明	i : 臨界角 : 入射角が 90° のときの 屈折角	※臨界角 : 屈折角が 90° のときの入 射角
111	検出器の BOX 内 電子捕獲検出器 (ECD) の特徴欄	・ ³ H、 ⁶³ Ni などの β 線源を用い、キ ャリヤーガスの窒素を陰イオン化 し、～	・ ³ H、 ⁶³ Ni などの β 線源を用い、キ ャリヤーガスの窒素を陽イオン化 し、～
138	7) 反応中間体の構造 と性質 1、2 行目	化合物を構成する原子または原子団 が結合位置を変え、分子構造の骨格 変化を生じる化学反応を転位反応 (rearrangement reaction) とい う。	削除
180	1) 典型元素と遷移元 素 1 行目	周期表において、1 族、2 族と 13 ～18 族を典型元素、3～11 族を遷 移元素という。	周期表において、1 族、2 族と 12～ 18 族を典型元素、3～11 族を遷移 元素という。 ※12 族は遷移元素に分類されるこ ともあるが、本書では典型元素に分 類する。

183	(1) 活性酸素 BOX 内	ヒドロキシラジカル (OH ⁻)	ヒドロキシラジカル (\cdot OH)
321	表 糖原性ケト原性	イソロイシン、フェニルアラニン、 チロシン、トリプトファン、リシン	イソロイシン、フェニルアラニン、 チロシン、トリプトファン ※リシンを削除
	表 ケト原性	ロイシン	ロイシン、リシン